

支援情報等のお知らせ

- 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - 1 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」の参加者受付中
 - 2 支援者向け動画配信「青少年の自殺予防 学校での対策」受付中
 - 3 「ぐんまインクルーシブフェスタ2024」を県庁で開催します
 - 4 「2024リカバリーカレッジ小神明フェスティバル」を開催します
- 自立支援に関するイベント等の情報
 - 5 こころの県民講座：子どもと関わる時に知っておいてほしいこと
 - 6 ひきこもり家族教室『本人と家族の気持ち 対話の工夫』とは
 - 7 県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ38」
- 民間活動団体等の紹介
 - 8 桐生市 桐生市社会福祉協議会「居場所 TOMONI」

1 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」の参加者受付中

県子ども・若者支援協議会では、困難な状況の子ども・若者の支援に携わっている方を対象に研修会を開催します。関心のある方は誰でも参加できます。

今回は、不登校・ひきこもり状態への支援で「本人にとっての安心・安全な居場所と動き出すきっかけを考える」をテーマに、当事者の不安にどのように対処していったらいいのかを考えるため、不登校・ひきこりの経験者や支援者に語っていただきます。

孤立・孤独感を抱えている当事者にどのように向き合っていたらいいのか、相談・支援機関等の社会資源をどのように活用していったらいいのか、参加者の皆さんと一緒に考えていきます。

■日時 令和6年12月19日（木）13：00～16：40

■会場 群馬県公社総合ビル ホール
（前橋市大渡町 1-10-7）

■内容

- ① 情報提供 新たな学びの場「つなサポ」における支援
県総合教育センター子ども教育相談係 西田 麻規氏
- ② 当事者の声「不登校・ひきこもりの子どもたち」の本音
不登校経験者 豊田 和明氏
不登校の子どもの母親 岡部 知香氏
太田フリースクールあおば 代表 関口 真由氏
聞き役：群馬県私立通信高校連絡協議会事務局長
（わせがく高等学校教頭）丸山 昌利氏
- ③ 支援現場からの報告
 - ア) 医療支援「診察室を訪れる当事者たち」
みどりクリニック院長 鈴木 基司氏
 - イ) 伴走支援
「不登校・ひきこもり状態の子ども・若者の伴走支援に携わって」
NPO法人カウンセリング&コミュニケーションミュー代表 山本 泉氏
 - ウ) 居場所支援「当事者にとっての安心・安全な居場所づくりに携わって」
NPO法人ぐんま若者応援ネット「アリスの広場」代表 佐藤 真人氏
- ④ 意見交換

る」

テーマ「不登校・ひきこもり状態の当事者に向き合った支援のあり方を考え

コーディネーター：共愛学園前橋国際大学短期大学部 教授 上原 篤彦氏

助言者：みどりクリニック院長 鈴木 基司氏

登壇者：岡部知香さん、関口真由さん、山本泉さん、佐藤真人さん

⑤ まとめ 上原コーディネーター

■申込み 定員200人（先着順） 期日：12月13日（金）まで

下記のフォームから申込みください

フォームのURL（インターネット）

<https://logofrm.jp/form/9cfD/750381>

【問合せ連絡先】

群馬県子ども・若者支援協議会

（県私学・青少年課青少年育成係）

電話 027-898-3557

e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

2 支援者向け動画配信「青少年の自殺予防 学校での対策」配信中

県児童福祉課では、子どもの自殺を防ぐ体制づくりを目的に、令和4年度から群馬大学（大学院医学系研究科小児科学分野）に委託して「子どもの心のケアネットワーク事業」を実施しています。

この事業は、自殺未遂等の心の問題を抱えた子どもに対して学校等の身近な場所で、医療・教育・保健福祉関係者が連携しながら適切な対応を行うことを目指しています。

同事業で、教職員等の支援者向けの動画教材「青少年の自殺予防 学校での対策について」を現在配信しています。

下記URLからご視聴ください。

なお、教職員向けの相談窓口「こどもの自殺予防相談ダイヤル」も開設しています。詳細は県児童福祉課にお問い合わせください。

支援者向け動画配信【青少年の自殺予防 学校での対策】

■主な内容

第1部 青少年の自殺の現状（約3分間）

第2部 自殺のサインと対応（約30分間）

第3部 自殺予防のための校内体制（約22分間）

■動画視聴URL（無料）

URL <https://youtu.be/gVB-MEqLzjQ>

配信期間

令和7年3月末まで

■問い合わせ先

群馬県児童福祉課 母子保健・障害児支援室

母子保健係（武藤）

電話：027-226-2606

メール：mutou-yo@pref.gunma.lg.jp

3 12/6～「ぐんまインクルーシブフェスタ2024」を県庁で開催します

県教委特別支援教育課と群馬県では、年齢、性別、国籍、障害の壁を越え誰もが楽しめるフェスティバルを県庁で開催します。

12月6日（金）は県民ホール（県庁1階）で特別支援学校の児童生徒

による作品展示、製品販売、専門高校とコラボしたステージ発表があります。7日(土)にはNETSUGEN(県庁32階)でシンポジウムを開催します。

- 6日(金)県民ホール(県庁1階) 10時~14時
 - ・ハートフルアート展(12/10まで作品を展示しています)
(特別支援学校の児童生徒作品展)
 - ・特別支援学校生徒による作業製品の販売会
「ダブルニジマスバーガー」の販売
(専門高校と特別支援学校の共同開発)
 - ・ステージ発表(和太鼓、ダンス等) 司会: アンカンミンカン 様

- 7日(土)NETSUGEN(県庁32階) 10時~12時
 - ・シンポジウム「共生社会って何だろう~今私たちにできること~」
年齢、性別、国籍、障害によらず、すべての子供たちが同じ
場所で共に学ぶために必要なことを一緒に考えてみませんか
<申込み不要> ご自由にご参加ください。
 - ・司会者: 宮坂あつこ 様
(FM 桐生アナウンサー・ジョブラブぐんま代表理事・MashuUp!代表・県教育委員

員会委員)

- ・登壇者
 - 霜田 浩信 様(群馬大学共同教育学部 教授)
 - 山本 泉 様(NPO法人カウンセリング&コミュニケーションミュー 代表)
 - 平野 勇パウロ 様(株式会社アルテソリューション 代表取締役)
 - 高木 沙祐里 様(ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業 研修修了生)
 - 増田 眞次 様(玉村町立上陽小学校 校長)

*インクルーシブとは「全てを包括すること」。
違いを認め合い全ての人がお互いの人権と尊厳を大事にしていける
社会を目指します。

【問合せ連絡先】

群馬県教育委員会 特別支援教育課
電話 027-226-4653

4 12/7「2024リカバリーカレッジ小神明フェスティバル」を開催します

県委託事業で高校中退者等で訪問型の伴奏支援を行っているNPO法人
カウンセリング&コミュニケーション・ミュー (CCM)では、ひきこもり
状態の子ども・若者たちの安心な居場所「リカバリーカレッジ (RCCP)」
(前橋市小神明)を運営しています。
RCCPでは人との関わりを通して自己肯定感を育むため、様々な生活体験
(会場清掃、昼食づくり、家庭菜園等)や社会体験(アクセサリーづくり、
木工作、ゲーム・レクリエーション等)を行っています。

フェスティバルでは、RCCPを利用する子ども・若者との交流イベントを
開催します。一人ひとりの頑張る姿をそっと応援してください。

【フェスティバルの内容】

日時 12月7日(土) 13:30~16:00
会場 前橋市総合福祉会館(前橋市日吉町二丁目17-10)
社会適応訓練室(2階)

内容

- ・リカバリーの仲間と作る
アクアビース、バルーンアート、レジンアクセサリー、ダイヤモンドアート
- ・リカバリーの仲間と遊ぶ

- ルービックキューブ、輪投げゲーム、だるまさんが転んだ
- ・花子さんと歌う
- ・ママカフェで話そう 特設保護者コーナー
- 特別ゲスト
- ・「睡眠と夢」の講話 東洋大学教授 松田 英子氏
- ・ミニマナー講座 中央カレッジグループ 神戸 あかり氏

【問い合わせ先】

CCM事務局 027-898-2346
 リカバリーカレッジ小神明プロジェクト 090-5599-2160
<https://www.npo-ccm.org/contact>

5 「第51回こころの県民講座（児童・思春期）目の前の子どもと関わる時に
 知っておいてほしいこと～精神科医の立場から～」申込み受付中

群馬県こころの健康センターでは、精神保健福祉の知識の普及を図ることを目的として、こころの県民講座を開催しています。

今回は思春期世代における親子関係や教育を中心としたコミュニケーションの工夫等について取り上げます。

この講演会は動画配信になります。
 どなたでも申込みができるので、ぜひご参加ください。

【概要】

- 演題：
「目の前の子どもと関わる時に知っておいてほしいこと～精神科医の立場から～」
- 講師：
医療法人カメリア大村共立病院 院長・副理事長 宮田 雄吾 氏
- 動画配信期間：
令和6年10月21日（月）～令和7年2月28日（金）
- 申込み期日：
令和7年2月28日（金）まで
受付完了メールとともに配信URL送付します（随時）
- 申込み方法：
ぐんま電子申請受付システム（下記URL）でお申込みください。
URL：<https://logoform.jp/form/9cfD/709005>

6 11/26 ひきこもり家族教室『本人と家族の気持ち 対話の工夫』とは

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいるご家族を対象に家族教室を開催しています。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会としませんか。

【参加者の声】

- 「皆さんのお話から元気をいただけた」
- 「工夫できるところが見つかった」
- 「気持ちに余裕が持てるようになった」を
- 「選択肢が広がった」 etc...

- 教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています。
「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなる」という研究結果があります。

- 初めての方は個別の相談をお受けした後に、必要に応じて

教室をご案内しています。参加をご希望される場合は、
下記連絡先までご連絡ください。

- 家族教室で使用するテキストは県ホームページに掲載しています。
こちらからダウンロードしてください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/632294.html>

【11月の家族教室】

教室：11月26日（火） 第4火曜日 13:30～16:00
内容：『本人と家族の気持ち 対話の工夫』とは

前半：家族教室 13:30～15:00（受付13:00）
後半：家族の居場所 15:00～16:00（受付14:30）
◆ご家族同士で感想等をお話しする時間です。
◆前半「家族教室」に参加したことのある方は、
後半「家族の居場所」のみの参加も可能です。

会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）
連絡先：ひきこもり支援センター
専用ダイヤル 027-287-1121
月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始は除く）
※電話が集中した場合つながりにくいことがあります。

- 支援者の方の参加もお待ちしております。
※支援者の方は 027-263-1166 へお願いします。

7 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ38」 焦らせて購入させるネット通販の手口に注意！

ネット通販などで「タイムセール終了まで●●分！」「在庫残りわずか！」
のように焦らせる内容の広告を見たことはありませんか。
もしかしたらそれは、商品を購入させる手口かもしれないのでご注意ください。

【相談事例】

- ・タイムセールをしている通販サイトを見つけた。残り時間のカウン
トダウンを目にして気持ちがあおられて焦り、衣類を購入した。
翌日同じサイトを見ると、またタイムセールをしていた。
毎日しているなら慌てて買うことはなかった。
- ・ネット検索していたところ、欲しい商品が安値で販売しているサイ
トを見つけた。「残りわずか」と表示されていたため急いで注文し、
代金を振り込んだが、2週間経っても商品が届かず、メールを送って
も返信がない。

【トラブルに遭わないために】

- ・ネット通販の利用時に、タイムセールのカウントダウンや「残りわずか」
等と表示されることがありますが、これは、消費者を焦らせて購入に
誘導している手口の可能性があります。
このような手法があることを知り、惑わされないように注意しましょう。
- ・ネット通販利用時には、必ず商品・サービス内容、支払総額、取引条件、
解約条件、事業者の所在地や電話番号等をよく確認して購入しましょう。

★こまったら、まず相談！！

消費者ホットライン「188（いやや）」
※最寄りの消費生活センターを案内する全国共通3桁の電話番号です

《お問い合わせ》

群馬県消費生活センター 027-223-3001

8 民間活動団体等 桐生市社会福祉協議会「居場所 TOMONI」

今年4月から毎月第2、4水曜日午後に桐生市総合福祉センターで苦手を抱えた方々が集まる「居場所TOMONI」を開設しています。

桐生市は、高齢化率が高く一人暮らしが多いことから地域住民の支え合いによる見守り活動の推進に取り組んでいます。

桐生市社会福祉協議会では、地域団体やボランティアの皆さんに支援活動への参加を働きかけながら、市民の皆さんと共に誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進しています。

そうした活動を通して、「社会に出て行くことがつらい」と感じたりひきこもり状態が続いて「自宅以外に取りあえず出て行ける場所が欲しい」と感じたりしている人たちのために、小さなステップを用意できなだろうかと考え、1年間の準備期間を経て「居場所 TOMONI」を開設しました。

利用者は10代から70代まで幅広い年代の人が利用しています。開設の2時間をずっと話している人もいれば、折り紙やぬりえをして過ごす方、10代の若者とはゲームを一緒にやっています。何をして過ごしてもいいコンセプト。

次のステップを希望する方には社会福祉協議会のネットワークや就労支援事業者につないでいくことも可能です。

今年度、県ひきこもり支援のための広域的居場所づくり事業の委託を受けて取り組んでいます。

「居場所 TOMONI」では、ひきこもり状態にある方やそのご家族等が気軽に出入りできる交流の場を目指しています。関心のある方は是非一度遊びに来てください。

活動の詳細はこちらをご覧ください。
<https://kiryu-csw.net/publics/index/109/>



次号は、2024年12月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活こども部
私学・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-898-3557
- ▼ FAX 027-226-2100
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
- ▼ HP https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp_headline_3
県HP「子ども・若者への支援」

.....